



仲間と遊ぶ



自然で遊ぶ



子どもの笑顔を守るために



スマホやタブレットが当たり前の時代になり、子どもの生活環境が急激に変化しています。その一方で、人間の長い進化の過程でつくられた発達のみちすじは変わりません。子どもは、今も昔も大人の愛情を受け、時間と空間と仲間が保障されて健やかに育ちます。私たち保育者は、どんな子も笑顔で過ごせることを大切に、遊びたい・食べたい・寝たいという意欲や欲求を満たせるように環境を創っています。私たちの保育で育っている子どもたちの笑顔を是非ご覧ください。



食べて育つ



大人たちが手をつなぎ、
子どもの笑顔が守られる社会にするために

- ①子どもたちの命を守りましょう
- ②誰もが安心して子どもを産み育て働ける社会にしていましょう
- ③すべての子どもが必要な保育が受けられるようにしましょう
- ④安全・安心で質の高い保育を受けられるようにしましょう
- ⑤保育の配置基準の見直しを訴えていましょう

眠って育つ



各地域の保育カレンダーお問い合わせ先

地域	園名	住所	TEL
東北	是川保育園	青森県八戸市是川2-15	0178-96-4082
	さくらんぼ保育園	福島県いわき市鹿島町下蔵持字沢目20-1	0246-58-5616
茨城	そとの保育園	茨城県石岡市東大橋1639-2	0299-26-3508
	はなのわ保育園	茨城県ひたちなか市西光地1丁目6-3	029-273-0493
東海	編集委員長 恵の実保育園	愛知県豊川市市田町原山97、98	0533-65-9803
	たけのこ保育園	静岡県島田市阿知ヶ谷277	0547-35-0066
関西	くるみ共同保育園	大阪府羽曳野市壺井508-1	072-957-3282

地域	園名	住所	TEL
関西	認定こども園 鷹巣ひかり	福井県福井市西二ツ屋町第9号8番	0776-86-1066
	たんぼぼ保育園	広島県福山市日吉台2丁目11-15	084-943-1052
島根	こぐま保育園	島根県出雲市大社町入南1307-5	0853-53-1123
	あゆみ保育園	島根県安来市穂日島町426-1	0854-23-1557
九州	あゆみの森 共同保育園	福岡県北九州市八幡西区鳴水町5-22	093-645-3264
	女の都こども園	長崎県長崎市女の都3-2-4	095-847-5727
	ひいらぎ保育園	福岡県久留米市上津町2143-1	0942-51-0800
事務局	女の都こども園	長崎県長崎市女の都3-2-4	095-847-5727

カレンダーへのご意見・ご感想は編集委員会までお寄せ下さい。

保育カレンダー だより

No.42 2023年9月
発行：保育カレンダー編集委員会
愛知県豊川市市田町原山97、98
恵の実保育園内
TEL 0533-65-9803 FAX 0533-84-9777
Eメール：hoikuen.enomi@gmail.com



『子育ては楽しい』と思える社会に

— 今年も保育カレンダーの普及にご協力をお願いします —

近年少子化がすすみ日本全体の課題となっていて、政治の世界やメディアなどで盛んに問題提起がされています。子育てする環境を社会がどのように見守るかはとても重要だと考えます。

現代の教育として、多方面のエリートをつくりたいという影が見え隠れしています。子どもを育てる親が社会からのプレッシャーを感じることなく『子育ては楽しい』と思える社会になることは、少子化を止める一つの方法ではないでしょうか。

私たちは「人材」を育てているのではなく「人間」を育てているのです。

あらゆる人から愛され、尊重される子ども時代を送ることは全ての子どもたちに与えられている権利です。

子どもたちの未来は、子どもたち自らが切り拓いていくものです。そのために私たち大人は、子どもの言葉を大切にし、手をつなぎ合い、一緒に成長できる社会にしていかなければなりません。

保育カレンダーでは子どもたちのあゆみを絵と共に紹介しています。ぜひたくさんの方の手にとっていただければ幸いです。



2024年 保育カレンダー

2022 年度 / 卒園児の絵



自由の体感

哲学者 西 研



自由な人間へと育つこと。18世紀半ばのルソーは、そのことを何よりも大事なことと考えました。でもいま、自由という言葉は人気がなくなっているように感じます。

大学生に「あなたは自由という言葉から何をイメージしますか?」と尋ねてみると、レポートやバイトが終わったとき、のように「義務からの解放」を挙げる人が多い。さらに、「重荷」や「孤独」という否定的な言葉も聞かれます。

そこから見えてくるのは、一つには、いつもまわりから「要求」されてきた姿です。「要求にうまく応えられないと、落ちこぼれてしまう」。そう思ってがんばってきたからこそ、要求や義務に邪魔されない「フリータイム」に自由を感じるのでしょうか。

しかしそれは、自分から動く自由ではありません。「おもしろそうだ!」と思って夢中になって力を注ぎ、そしてそれを実現する、そんな経験が欠けているように思えます。そして「おもしろそうだ・こうしたい!」が見えないとすれば、自由が「重荷」になってくることも理解できます。

もう一つ大学生の言葉から見えてくるのは、自由という言葉を「他者から切

り離されること」とイメージして、それを何よりも恐れる姿です。自分の欲求を出さないようにして、まわりから浮かないようにやってきた、そんな生き方が見えてきます。

さくら・さくらんぼの保育がまず大事にしているのは、一人ひとりが自分の欲求を出して夢中になってやること、だと思います。これが、自分から動く主体的な自由の土台になる。

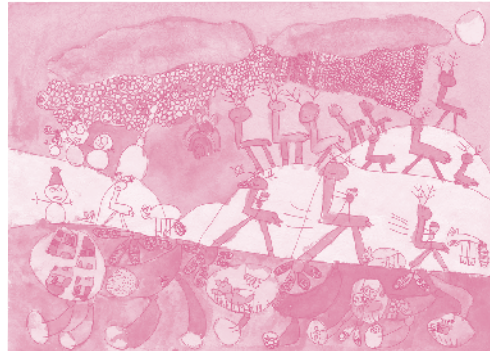
そして、子どもたちがいっしょになって何かをつくりあげること。そこには、いっしょに困ったり笑ったりする、感情の「共振」があります。そして、ほくがこうしたら相手はこんなふうに返してくれた、という「やりとり」の面白さ。思い描いたものを「実現」できた誇らしさ、そして他の子や大人たちが「喜んだりおもしろがったりしてくれた」こと。

子どもたちが卒園して小中高と進学していけば、難しいことにつきあたるかもしれませんが、このようなかたちで自由を体感したことは必ず身体の中に残って、将来の自由な生き方につながっていくはずだと思います。

プロフィール

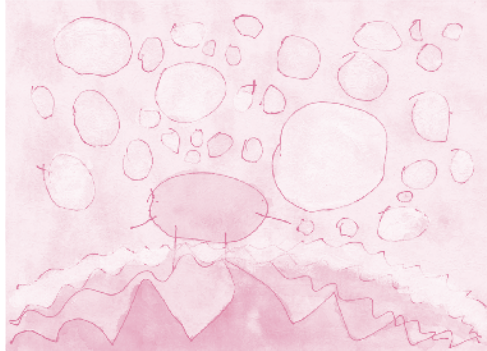
1957年、鹿児島県生まれ。哲学者。東京医科大学兼任教授（人間学教室）。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、京都精華大学助教授、和光大学教授、東京医科大学教授（哲学教室）を経て現職。教育出版小学校国語教科書『広がる言葉』編集委員。NHK Eテレ「100分de名著」では、ニーチェ、ルソー、カントの回などに出演。
※保育士の学習会などに、研究者の立場として参加していただいています。

1月 たんぼぼ保育園（広島県）



6歳2カ月の女の子

2月 高取保育園（福岡県）

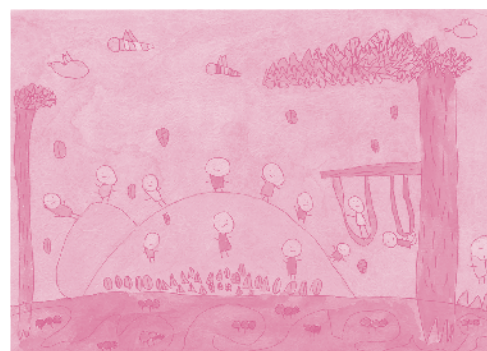


6歳6カ月の男子

3月 わかたけ保育園（島根県）
6歳7カ月の女の子



4月 あゆみの森共同保育園（福岡県）



6歳3カ月の女の子

5月 ひまわり第2保育園（島根県）



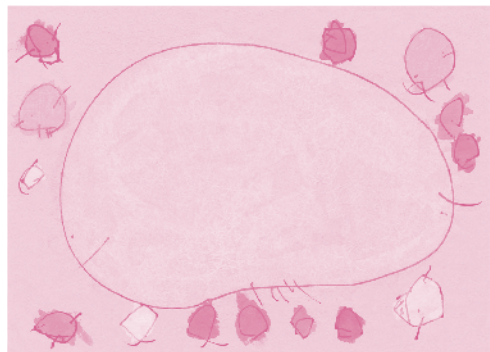
6歳7カ月の男子

6月 はなのわ保育園（茨城県）



6歳9カ月の男子

7月 蓮華の家共同保育園（愛知県）



6歳の女の子

8月 山中ふたば保育園（石川県）



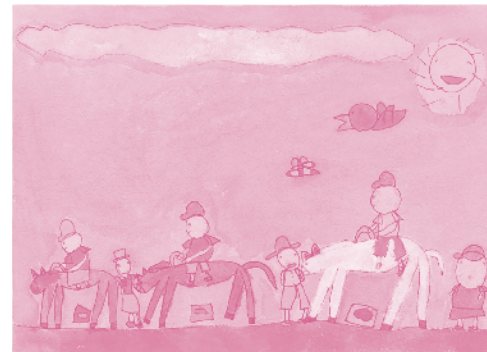
6歳7カ月の女の子

9月 遊びの家共同保育園（長崎県）



6歳6カ月の男子

10月 花巻太陽の子保育園（岩手県）



6歳8カ月の女の子

11月 どんぐり山共同保育園（富山県）



6歳7カ月の女の子

12月 さくらっこ保育園（福島県）



6歳5カ月の男子